

■欧州：欧州議会、排出量取引制度に市場安定化リザーブを導入する法案を可決

2015年7月8日の欧州議会・本会議において、EU排出量取引制度（EU-ETS）に「市場安定化リザーブ（Market Stability Reserve：MSR）」を導入する法案が、賛成多数で可決された（賛成 495、反対 158、棄権 49）。MSRは、排出枠を蓄えておくリザーブを新たに設置し、このリザーブを利用して市場に流通する排出枠の量を調整、これにより、低迷する排出枠価格を合理的な水準で安定させることを狙った措置である。今回、可決された法案では、MSRの運用を2019年に開始することや、「バックローディング」によって2014～2016年に市場への放出が保留された排出枠を、引き続き、リザーブに組み入れることなどがうたわれている。法案の正式な成立には、今後、閣僚理事会の承認が必要であるが、すでに非公式な形での合意は形成されており、今秋以降の法案成立は確実視される。